

私が考える10年後の太白区

幅広い世代が交流し、集い、活動するまち

- ・若者も高齢者も住みやすい
- ・世代を超えたネットワークづくりに成功している
- ・太白区に住んでいない高校生も太白区を好きになれるようなコンテンツがある
- ・若者が戻りたくなるまちになる
- ・若い世代がリーダーとなって便利で安心して住めるまちづくりをしている
- ・任意で活動している団体が元気に活躍できる
- ・地域のイベントが太白区内の各地で頻繁に開かれている
- ・音楽ホールでコンサートや芸術イベントが楽しめる
- ・公共の公民館や図書館に若者が集う

支え合い、自分らしく暮らせるまち

- ・人と人との繋がりが強い活発であたたかいまちになる
- ・高齢者率No.1でも、高齢者満足度No.1のまちになる
- ・交通の便や見守り、繋がりがあがる高齢者も住みやすい
- ・障害があっても自由に出かけられる
- ・いつでもやりたいことを実現できる
- ・他県からきた人達も受け入れやすいまちになる
- ・プロボノ、ICTやAIを活かしたまちづくりをしている
- ・防災が発達している

地域資源を活かしたまち

- ・それぞれの地域の良さを、観光に生かした活気あるまちになる
- ・多くの人々が、名取川・広瀬川の河川敷に広がるテニスコートや散歩道、自転車ロードを楽しんでいる
- ・名取川の清流が変わらずに残っている
- ・太白区の素晴らしい自然を、区民がよく知っている
- ・居住地としてだけでなく、自然と共存した観光地としても発展している

私たちができること・自分たちのアクション

知る・考える・話し合う

- ・地域のことにもっと関心を持つ！
- ・SNSを活用して太白区の自然や良いところを知ってもらおう！
- ・今ある施設や公園を活用して、住んでいる地域をもっと好きになる！
- ・大学や広報団体等と連携して、太白区の歴史について発信してく！

活動の実践

- ・地域の行事に参加して、まずは自分自身が協力し、楽しむ！
- ・子育て中のママの居場所づくりの取組みを地域に根付かせる！
- ・子育てを家庭だけでなく社会で行うための取組みを続けていく！
- ・地域団体のリーダーとして、各団体との横串をつくる！
- ・障害者の方のサークル活動を続ける！

連携

- ・各地域に学生版（小学生～大学生）「地域みらいクラブ」をつくり、地域の発信や課題解決に取り組む！
- ・学校と地域、家庭を繋ぐ後継者を育成し伝承していく！
- ・様々な世代が集まって楽しめるイベントをつくる！
- ・子育てや介護など同じ悩みを持つ人が話し合えるコミュニティをつくる！

◆◆◆ 太白区 イベントレポート ◆◆◆

“太白みらいトーク” を開催しました

2021年度から始まる新総合計画（～2030年度）での区別計画の策定に向け、太白区において市民参加型イベント「太白みらいトーク」を開催しました。

当日は、「私が住みたい10年後の太白区～私たちが出来ること～」をテーマに、太白区内で活躍するパネリストによるトークセッションのほか、参加者の皆さんで“太白区の未来”について話し合っていました。

以下、当日の様子を報告します。



2019年2月24日（日）13：30～16：30

仙台市太白区中央市民センター

参加者数：61名（16歳～85歳）

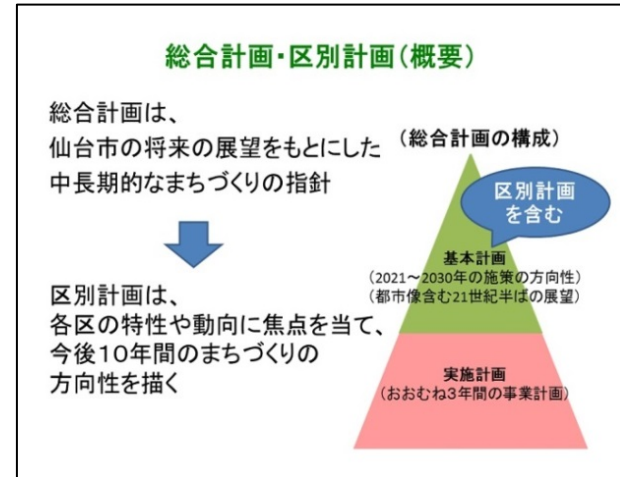
主催：仙台市太白区（太白みらいクラブ）

“太白みらいトーク”

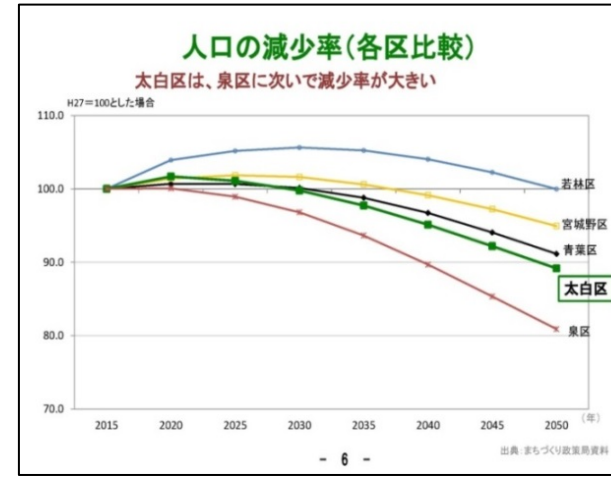
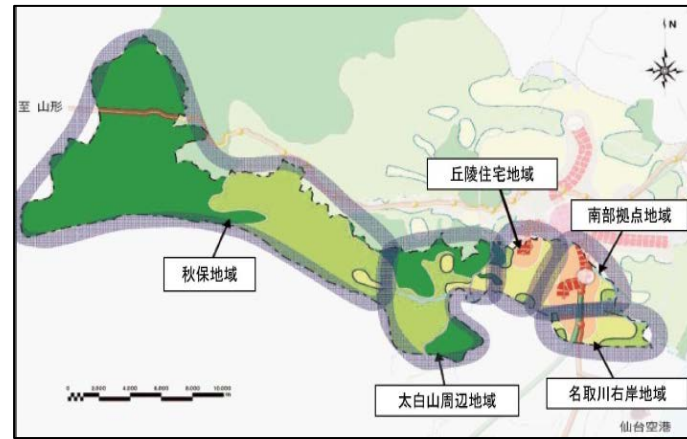
～ 私が住みたい10年後の太白区 私たちが出来ること～

1 太白区データの紹介

事務局から、総合計画と区別計画の概要、太白区の各種データ等を紹介しました。



▼東西に帯状に広がる太白区は、それぞれの地域特性を踏まえ、5つの圏域に分けられる。



▲太白区の人口は2020年をピークに、2050年には20万人程度にまで減少すると推計され、泉区について大きな減少率が示されている。

少子高齢化などの社会環境の変化や、多様化する課題にきめ細かく対応する上で、より一層、地域力の向上が求められています。



～ 当日の進行は～

■ファシリテーター
せんだい・みやぎNPOセンター
常務理事兼事務局長
青木 ユカリさん

2 パネリストによるトークセッション

●放課後子ども教室「柳生子ども塾」代表 石橋 ひろみさん



柳生子ども塾の1つ「あそび塾」では、子どもたちが昔ながらの遊びを地域の方から教わるほか、町内会のサロン会に参加して、お年寄りをサポートしつつ一緒に工作をするなど、積極的に地域との交流を図っています。

また、昨年12月には、新しい企画にも挑戦し「柳生キャンドルナイト」を実施しました。柳生地区には、町内会や学校の先生方をはじめとする素晴らしいサポーターがたくさんいます！

●NPO法人 FORYOU にこにこの家 理事長 小岩 孝子さん



東中田地区で町内会や社会福祉法人をはじめとする多様な団体と連携しながら、地域福祉に取り組んでいます。これまで児童館の運営やミニデイサービス等、子育て事業から介護事業まで活動の幅を広げてきました。

震災後は、震災の教訓を活かす取り組みも行い、学区を超えて一層、連携の輪が広がってきました。今後10年は「シニアがシニアを支えるまち」「子育て・子育て応援社会」「誰にもやさしいまち」を目指していきたいと考えています。

●長町・あすと長町活性化委員会委員 加藤 隆さん
(ゼビオアリーナ仙台マネージャー)



長町商店街や地域の方々と「長町秋のフェスティバル」を企画し、幅広い世代が参加できる環境づくりに取り組んでいます。取り組みの一つとして、立案から実行まで学生が進める企画を始め、その傍らで学生にとって身近な先生方と顔の見えるサポート体制を築きました。

その結果、来場者が大幅に増加し、学生・若者が地域活動に取り組みやすい環境を作ること、コミュニケーションが生まれ、まちが元気になると考えました。今後も、学生等が地域活動に参加しやすい環境づくりに力を入れていきます。

3 参加者による話し合い（ワールドカフェ）

太白区の魅力と課題

太白区の
良いところ
(魅力)は？

地域に密着したイベントが多い！

- ・地域の中で小さなイベントが多い
- ・まちづくり勉強会など大学と地域が連携

防災に対する意識が強い！

- ・八木山防災連絡会の活動

歴史的資材が多数ある！

- ・郡山遺跡や古墳
- ・柳生和紙や秋保の田植え踊り 等

観光地が多い！

- ・八木山動物園や三神峯公園の桜、秋保温泉 etc
- ・親しみやすく、観光地としての魅力もあるところが多い

交通の便が良い！

- ・JRや地下鉄、バス等交通手段が多様
- ・通勤・通学に便利。区外からも移動しやすい

パネリストも入って、グループごとに話し合いました！

太白区の
気になること
(課題)は？

交流の場が少ない…

- ・様々な世代が交流するための場がない

斜面にある住宅団地…

- ・坂が多く道路が狭くて大変

交通の便に地域の差がある…

- ・中心部は交通の便が良いが、郊外は未だ少ない

集まりたいときに使える施設が少ない…

- ・気軽に利用できる施設がない
- ・勉強ができるような公共施設があると良い

商店街に活気がない…

- ・大型店の進出で、地元の商店街が衰退